

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-47 心身障害者医療助成事業					タイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門					32	心身障害者医療助成事業
主管課	保険年金課		関連課	障害者福祉課			
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	心身障害者の保健の向上と福祉の増進						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	634,289千円	633,883千円				
	(国・県)	126,683千円	183,965千円				指標と評価
	(負担金等)	100,147千円	17,448千円				指標
	(一般財源)	407,459千円	432,470千円				評価
	人員配置数	1.5人	1.5人				
	人件費	14,118千円	15,018千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	648,407千円	648,901千円	H21対象者:4,356人			20年度
	市民1人当 りの経費	3,670円	3,677円				21年度
	対象者1人 当りの経費	148,854円	151,932円				22年度
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	横須賀市	23年度
	中度身体障	○	○	×	○	×	最終年度 (年度)
	中度知的障害者を対象	○	○	×	○	×	
	精神障害者	○	○	○	○	×	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 平成21年10月から神奈川県医療費助成改正があり、重度障害者に所得制限が設けられた。本市は所得制限を設けていないが、補助金の交付を受けるため所得把握を行う必要があり、事務が煩雑になった。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 神奈川県医療費助成改正への対応について、神奈川県や他市町村と協議をし、事務を行った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 神奈川県の医療費助成改正に伴い、一部負担金の導入・65歳新規制限・所得制限を実施する・しないは市町村判断となった。これら県内で統一されていた扱いが各市で異なるため重度医療費助成に差が生じることとなった。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①レセプト点検等の医療費の適正化 ②神奈川県の医療費助成改正に伴う近隣市町村の対応状況を把握しながら、市としての対応を検討していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	障害のある方や障害のある方の属する世帯には、所得が低い世帯もあり、経済的負担を緩和させるためにも制度は必要である。			評価結果	改善の必要性	障害者に対する施策を充実し、推進していくうえで、今後とも必要な事業である。
B	有				B	有	
課長名		保険年金課長 相澤 昭弘			部名・部長名		健康福祉部 石井 和子